

減災のための目標

第2期(R4～R8)

5年間で達成すべき目標

河川整備率が低く、また、急流河川で水位上昇が急激な県管理河川の特徴を踏まえ、発生しうる大規模水害に対し、ハード整備とソフト対策が一体となった、とっとりらしい防災・減災対策に取り組み、「地域防災力の強化」「安全・安心で活力ある地域づくり」を目指す。

達成に向けた3本柱の取組

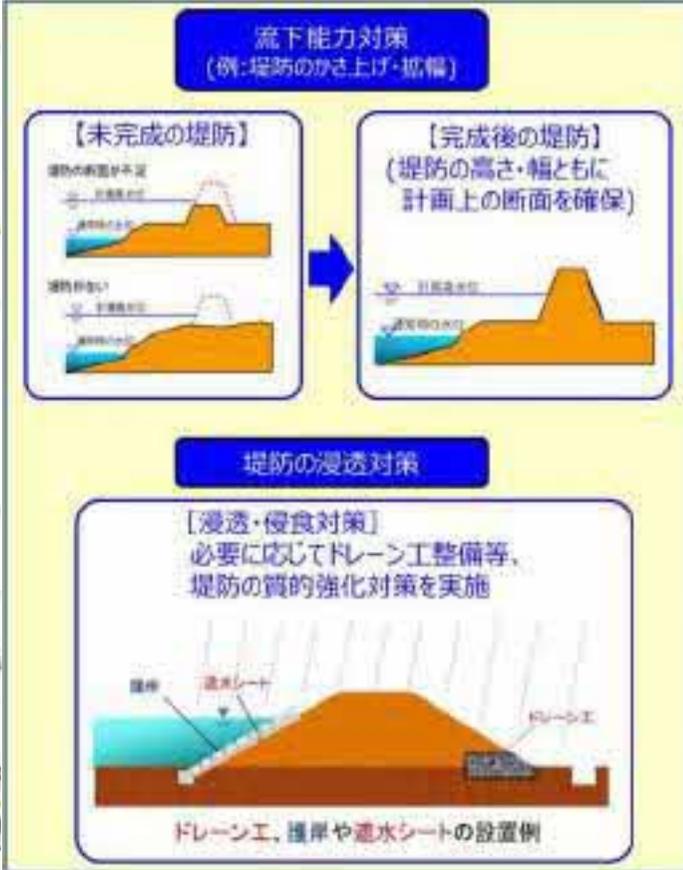
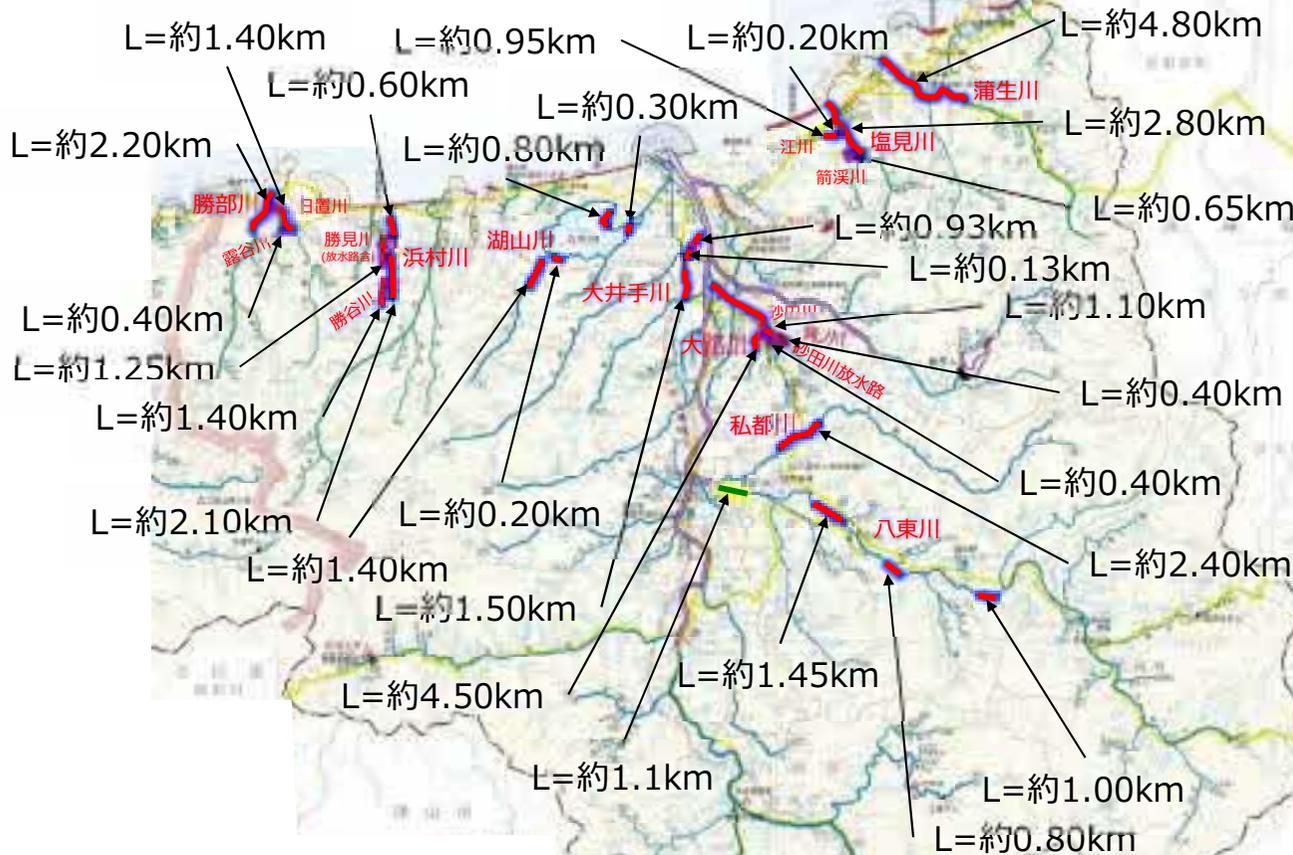
- ①鳥取県の強み「支え愛」による地域防災力の強化
- ②鳥取方式による地域と一体となった効率的な水防・河川管理の実施と治水対策
- ③住民の避難を促す鳥取県の実情を踏まえた水害リスク情報等の提供

※引き続き、平成30年7月豪雨を教訓とした安全・避難対策のあり方研究会・令和元年台風19号、令和5年台風7号を受けての鳥取県水防対策検討会等の結果を踏まえた取組を推進する。

河川整備計画に基づき、治水対策を着実に推進していく。

千代川圏域

洪水を未然に防ぐためのハード対策 概要図



| | | | | | | | | | | | | | | | |
|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 河川 | 千代川 | 日蓮川 | 勝見川 | 勝谷川 | 浜村川 | 湖山川 | 大井手川 | 大井川 | 私都川 | 八東川 | 浦生川 | 塩見川 | 箭溪川 | 砂田川 | 砂田川放水路 |
| 対策種別 | 浸透対策 | 流下能力対策 | 流下能力対策 | 流下能力対策 | 流下能力対策 | 流下能力対策 |
| 実施状況 | 完了 | 進行中 | 進行中 | 進行中 | 進行中 | 進行中 |

※具体的実施箇所等については、今後の調査検討や洪水被害の発生状況等によって変更となる場合があります。

【凡例】河川整備計画等に基づき取組を進める箇所

— : 流下能力対策

— : 浸透対策

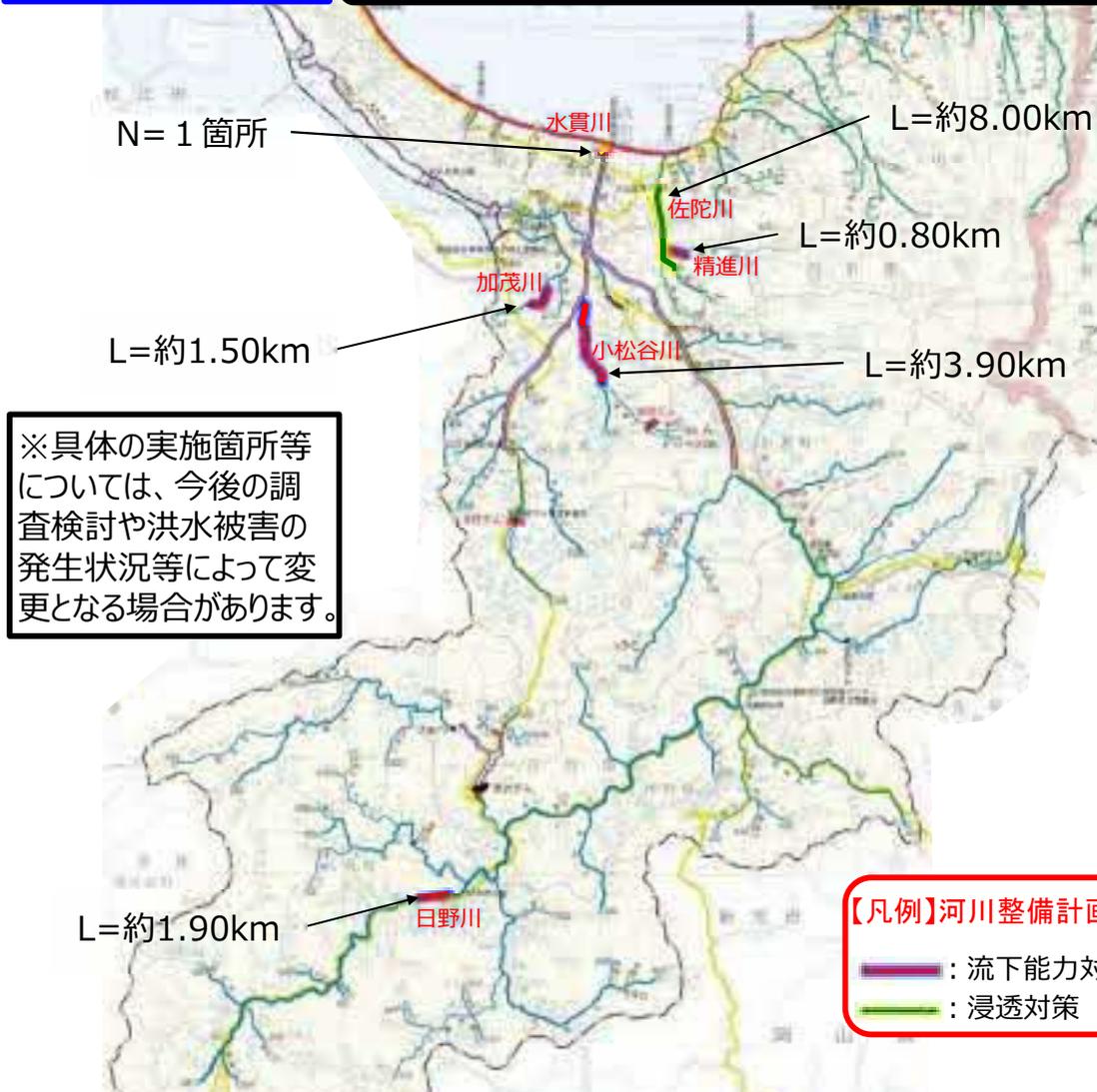
— : 洪水処理対策

- 塩見川(鳥取市福部町細川付近)における流下能力対策工事を重点的に実施中。
- 八東川(八頭町石田百井付近)における堤防の浸透対策を検討中。

河川整備計画に基づき、治水対策を着実に推進していく。

日野川圏域

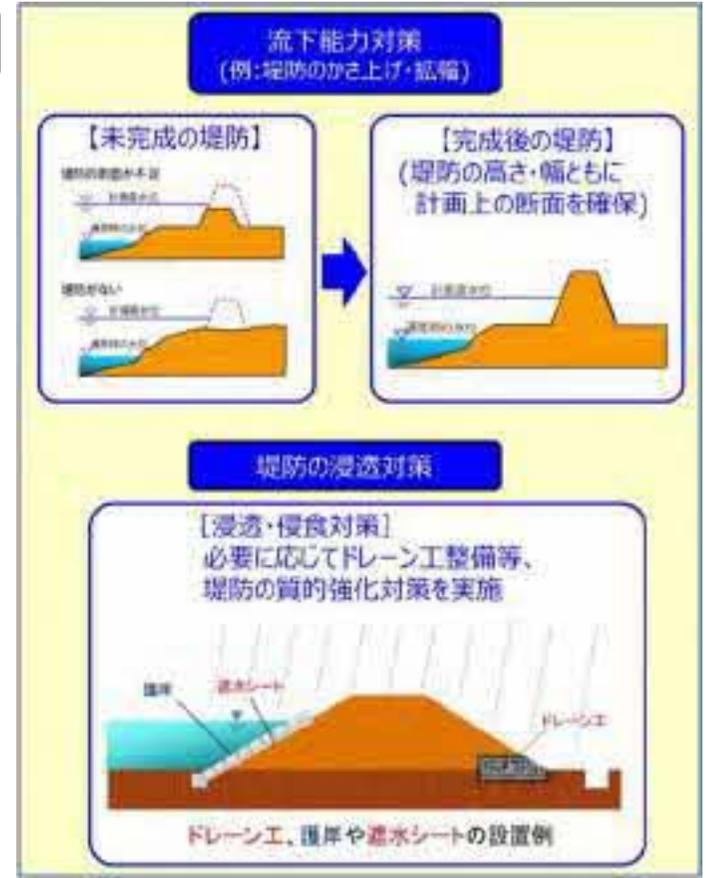
洪水を未然に防ぐためのハード対策 概要図



※具体的実施箇所等については、今後の調査検討や洪水被害の発生状況等によって変更となる場合があります。

【凡例】河川整備計画等に基づき取組を進める箇所

- 流下能力対策 (Purple line)
- 洪水処理対策 (Orange line)
- 浸透対策 (Green line)



| 河川名称 | 河川区間 | 対策種別 | 実施年度 | 実施状況 |
|------|------|--------|--------|------|
| 日野川 | 日野川 | 流下能力対策 | 2018年度 | 完了 |
| 水貫川 | 水貫川 | 流下能力対策 | 2019年度 | 完了 |
| 佐陀川 | 佐陀川 | 流下能力対策 | 2020年度 | 完了 |
| 精進川 | 精進川 | 流下能力対策 | 2021年度 | 完了 |
| 加茂川 | 加茂川 | 流下能力対策 | 2022年度 | 完了 |
| 小松谷川 | 小松谷川 | 流下能力対策 | 2023年度 | 完了 |
| 日野川 | 日野川 | 洪水処理対策 | 2024年度 | 完了 |
| 水貫川 | 水貫川 | 洪水処理対策 | 2025年度 | 完了 |
| 佐陀川 | 佐陀川 | 洪水処理対策 | 2026年度 | 完了 |
| 精進川 | 精進川 | 洪水処理対策 | 2027年度 | 完了 |
| 加茂川 | 加茂川 | 洪水処理対策 | 2028年度 | 完了 |
| 小松谷川 | 小松谷川 | 洪水処理対策 | 2029年度 | 完了 |
| 日野川 | 日野川 | 浸透対策 | 2030年度 | 完了 |
| 水貫川 | 水貫川 | 浸透対策 | 2031年度 | 完了 |
| 佐陀川 | 佐陀川 | 浸透対策 | 2032年度 | 完了 |
| 精進川 | 精進川 | 浸透対策 | 2033年度 | 完了 |
| 加茂川 | 加茂川 | 浸透対策 | 2034年度 | 完了 |
| 小松谷川 | 小松谷川 | 浸透対策 | 2035年度 | 完了 |

○小松谷川(米子市青木付近)における流下能力対策工事を重点的に実施中。

河川の氾濫リスクの軽減を目的として、治水安全度を計画的に向上させるために必要な**樹木伐採・河道掘削**を防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策、緊急浚渫推進事業債の予算を活用しながら、**計画的に実施**してきたところであり、令和5年**台風第7号**において、**人的被害がなかったことはこれまでの取り組みの成果**。

【令和6年度(補正)実施予定】八東川(八頭町)、佐陀川(米子市河岡～福万)、日野川(日野町中菅)22箇所

【令和7年度実施予定】小田川(岩美町院内)、三倉川(若桜町若桜)、玉川(宮川町)、34箇所



- ＜実施要件：5か年加速化対策＞ (R3年度※R2国補正前倒し～R7年度)
- ①流域治水 (事前防災) の位置づけで実施され一定の効果を見込める箇所
 - ②次のいずれかに該当する河川
 - ・毎年度実施する維持的な伐開・掘削以外の箇所
 - ・近年浸水実績があった場所
 - ・河川背後や浸水想定区域内に家屋、重要施設がある箇所
 - ・鳥取方式洪水浸水リスク図の浸水範囲 等
- ＜実施要件：緊急浚渫事業債＞ (R2年度～R11年度)
- ①県管理河川は全ての箇所が対象※個別計画の提出が必要



取組3 「鳥取方式」浸水リスク図の公表(済)及び 中小河川浸水想定(想定最大規模)について

R1完了・継続実施

県

水位周知河川等以外の県管理河川を対象に、県民皆様の適切な避難行動への一助とすることを目的として、「鳥取方式」浸水リスク図※1を公表済み。

※1 シミュレーションの対象降雨は計画規模(1/50 以下は一律 1/50) とし簡易的に算出
また、令和3年の水防法改正により、水害リスク情報の空白地帯解消を目的に、**想定最大規模**での浸水想定区域図及びハザードマップの公表が全ての一級・二級河川や下水道に拡大された。
浸水想定は令和7年度まで、ハザードマップは令和8年度までの完了を目標※2としている。

※2 令和5年度から浸水想定作成のためのシステムを構築中であり、令和7年度に浸水想定区域指定予定。

■水害リスク情報の空白域において浸水被害が多発

令和元年東日本台風では、堤防が決壊した71河川のうち43河川(約6割)、内水氾濫による浸水被害が発生した135市区町村のうち126市区町村(約9割)が水害リスク情報の空白域。



■水防法を改正し、浸水想定区域の指定対象を拡大

河川(洪水浸水想定区域)では約15,000河川、下水道(雨水出水浸水想定区域)では約1,000団体が新たに指定対象として追加。



| | 浸水想定区域図 | ハザードマップ |
|---------------|-------------------|------------------|
| 河川 (洪水) | 令和7年度までに完了※ | 令和8年度までに完了目標 |
| 下水道 (雨水出水) | 令和7年度までに約800団体完了※ | 浸水想定区域図作成後速やかに作成 |

※ 第5次社会資本整備重点計画KPIに位置付け

支え愛マップの取り組み支援等について、次のような取り組みを実施している。

①支え愛マップづくりインストラクター養成研修

【目的】マップづくりの推進役として自治会等を支援するスタッフを育成する。

【対象者】市町村社会福祉協議会職員、市町村職員、防災士

【R6実績】(内容)マップづくり体験、個人情報保護法の基礎、災害情報の取得、まちあるきのポイント
(参加者数)62名(開催日・場所)6/3倉吉体育文化会館・10/11上灘コミュニティセンター

②支え愛マップづくりの取組状況

【目標】40地区／年

【R6実績(R7年1月16日時点)】新たに20地区が作成

【取組み時に活用いただきたい動画(県社協作成)】

支え愛でまちづくり！～「支え愛マップ」でつながる地域～

<https://www.youtube.com/watch?v=HaDYnCUTO9w>(YouTubeにて公開) 支え愛でまちづくり！
～「支え愛マップ」でつながる地域～



取組状況



支え愛マップ完成



マップを活用した避難訓練や救急救命研修を実施



⇒水害・土砂災害に備え、防災・土木部局が連携して、自治会等に安全な避難場所・経路等について助言するとともに、マップを活用した訓練の実施をサポートしながら、地域防災力の強化を図っていく。

あんしんトリピーメール・防災アプリ「あんしんトリピーなび」

県

県内の防災・危機管理情報をいち早くお届けします。いざというとき必要な情報を受け取れるようあらかじめ登録・ダウンロードをしておきましょう。

■ 欲しい情報が選べます

| | |
|--|--|
|  気象警報・注意報 大雨警報、大雪警報、大雪特別警報 等 |  公共交通情報 列車の遅延、航空機の欠航 等 |
|  地震情報 震度3以上 |  道路情報 道路の通行止め 等 |
|  津波情報 大津波警報、津波警報、津波注意報 |  ライフライン情報 停電情報 等 |
|  気象情報 土砂災害警戒情報、竜巻注意情報 等 |  生活・健康情報 黄砂、熱中症警戒アラート、感染症情報 等 |
|  防災・危機管理情報 避難情報(避難指示等)、国民保護情報 |  防犯情報 不審者、行方不明者情報 等 |

■ 登録・ダウンロード無料

メール受信、ダウンロードにかかる通信費は利用者の負担となります
※通信費は携帯会社との契約内容によって異なります

■ 登録方法はコチラ

県の公式ホームページ(とりネット)で登録・ダウンロード方法をご案内しています
以下のQRコードを読み取ると該当ページにアクセスできます

■ あんしんトリピーメール



■ 防災アプリ
あんしんトリピーなび



あんしんトリピーメール

登録された方の携帯電話やスマートフォンに電子メールでお知らせするサービスです。

■ テキスト版と背景色版が選べます

背景色版では、内容によってメール本文の背景色が変わります

赤▶気象特別警報、気象警報の発表や避難情報、国民保護情報など

黄▶気象注意報の発表、通行止め発生情報、生活・健康情報など

青▶気象警報・注意報の解除、通行止め解除情報、停電復旧情報など



防災アプリ(あんしんトリピーなび)

鳥取県が提供する総合防災アプリです。

多言語
対応

■ お知らせを一覧で表示

あんしんトリピーメールで配信される防災情報を表示します(プッシュ通知も可能)

■ 最寄りの避難所等を自動リストアップ

マップで現在地からの経路を自動表示します

■ 河川・道路状況のライブ画像

河川水位や道路の積雪等の状況を確認できます

■ 多言語表示に対応

端末の設定言語に応じてアプリ内の表示言語が切り替わります

対応言語

英語、中国語(繁体字)、中国語(簡体字)、ロシア語、ベトナム語、フィリピン語、タイ語、インドネシア語



鳥取県防災情報ポータルサイト

複数のシステム・サイトで分散して提供されている**防災情報を集約したポータルサイト**です。
 (R6.6公開、R7.4機能追加)。
 速やかな情報発信により県民に対して適時的確な避難行動を促します。



スマートフォンでも閲覧
しやすいデザイン



防災情報の一覧表示

あんしんトリピーメールで配信される防災情報を表示します。

気象警報などの防災情報を地図上で重ね合わせて表示

地図上で重ね合わせて各種防災情報を表示することで、緊急時にも使いやすく、分かりやすい形で情報を提供します。

アクセス集中時の安定稼働

サイトへのアクセスが集中した時でも安定して動作するサイトです。

防災情報

- ・気象
- ・停電
- ・公共交通
- ・通行規制
- ・お知らせ
- …など

地図表示

- ・気象警報
- ・道路監視カメラ
(ゆきみちなび)
- ・河川監視カメラ
- ・ダム、河川水位
- ・雨量
- ・積雪深

取組 7,8 河川監視カメラ、水位計の設置状況

継続実施

県

- 重要水防区域や溢水の恐れのある箇所、河川背後地の状況や簡易浸水想定の結果等を踏まえ、河川監視カメラや量水標、水位計等を必要な箇所に継続して設置していく。

【設置状況】(R7.3時点)

河川監視カメラ : 175箇所
水位計 : 71局
危機管理型水位計: 103基

公開サイト

鳥取県防災情報ポータル（鳥取県危機管理部提供）

<https://tori-bousai.jp/>

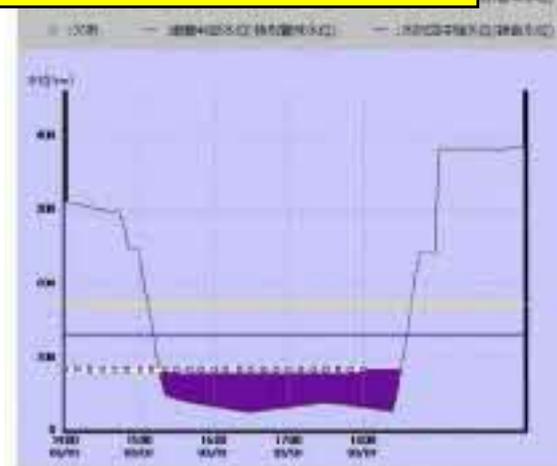
※河川課の河川監視カメラ提供システム、道路企画課の雪みちナビ等を集約したサイトを構築したもの



監視カメラ画像：大路川（鳥取市吉成）



水位計画像：北条川（北栄町北尾）



危機管理型水位計の設置事例：江東川（大山町清原）



【危機管理型水位計の課題】

2～3年での修繕事例が多く、本体交換の事例も必要
(設置費用は安価だが、維持管理費用が増加する場合もある)

佐治川ダム
百谷ダム
東郷ダム

避難体制の確立に向けて、各ダムにおいて、ダム機能や放流操作に係る周知（行政職員講習会・住民説明会等）を実施するとともに、ダム放流を想定した避難訓練を行う。

<住民周知(チラシ配布)の実施>

佐治川ダム(佐治川流域の全戸)

日時：令和6年3月

内容：洪水調節・緊急放流に係る説明資料を配布

百谷ダム(鳥取市稲葉山地区 1,400戸)

日時：令和6年8月

内容：洪水調節・緊急放流に係る説明資料を配布

東郷ダム(東郷ダム下流域の全戸)

日時：令和6年8月

内容：洪水調節・緊急放流に係る説明資料を配布

<佐治川ダム流域の安全確保>

日時：令和5年10月～令和6年2月

内容：緊急放流の対応を踏まえた佐治川流域の安全確保の検討
有識者や地元との意見交換において、抽出された課題、対策内容をとりまとめ、ロードマップとして公表し、順次実施。

| 項目 | 短期(概ね1年) | 中期(概ね3年) | 長期(3年以上) |
|--------------------|---|---------------------|----------|
| I 防災意識 | 県民の防災意識の定着 | 以降継続 | |
| | 防災情報の積極的な情報発信 | 以降継続 | |
| II 避難所、避難路 | 広域避難路の状況確認、バイパス整備等の検討 | | 以降継続 |
| | 避難所・避難路の整備状況の把握、避難経路の確保 | | 以降継続 |
| III 防災情報発信、ダム情報の周知 | 県民向け教育資料の普及の促進 | 以降継続 | |
| | Webサイトの工夫(ダム普及啓発等) | 以降継続 | |
| IV 緊急時の情報伝達、安否確認 | 緊急放送等の取組実施 | 以降継続 | |
| | 緊急時の対応マニュアルの策定 | 以降継続 | |
| V ダム操作・河川整備等 | ダムの構造・機能・操作の周知 | 以降継続 | |
| | 早期の事前放流 | 気象予測と流入量予測システムの精度改善 | |
| ★ その他 | 災害復旧の推進と防災対策の確立強化の検討、及び河川整備の実施 | | |
| | 防災意識の向上×ダム機能の周知×防災訓練×ダムの魅力発信＝流域の防災力向上 流域の持続性も高める「ダムを基軸とした、コミュニケーションの場の創出と提供の取組」の推進 | | |

<東郷ダム見学(ぐるり水の探検隊)、ライトアップ>

■ぐるり水の探検隊

日時：令和6年7月27日

内容：毎日使っている「水」がどんな旅をしているのか探検

場所：東郷ダム、天神浄化センター、円谷町水源地

参加：小学生親子(20家族50名)

■東郷ダムライトアップ予定

日時：令和7年7月、8月、10月、12月

内容：定期的な、ライトアップ(試験点灯)を行い、ダムのPRと地域振興を図る。

東郷ダムライトアップ(試験点灯)



東郷ダム見学(ぐるり水の探検隊)



ダム機能・操作の周知及び避難訓練の実施

県

賀祥ダム 朝鍋ダム

避難体制の確立に向けて、各ダムにおいて、ダム機能や放流操作に係る説明会を開催し周知を図る。ダム見学会においても、防災意識向上のため、洪水調節・緊急放流等を説明。

<住民周知(チラシ配布)>

(南部町)

日時：令和6年8月1日(木)

内容：洪水調節・緊急放流に係る説明資料を町報と一緒に全戸配布

<住民説明会(賀祥ダム)>

(上鴨部地区)

日時：令和6年3月24日(日)

参加者：20名

(南部町防災士連絡協議会)

日時：令和6年5月29日(水)

参加者：15名

(南さいはく地域振興協議会)

日時：令和6年8月29日(木)

参加者：25名

(法勝寺地区地域振興協議会)

日時：令和6年9月29日(日)

参加者：30名

内容：ダムの概要(洪水調節・緊急放流)及び浸水想定区域図について説明

<住民説明会(朝鍋ダム)>

(市山地区)

日時：令和6年7月20日(木)

参加者：10名

<賀祥ダム見学会>

(南さいはく地域振興協議会)

日時：令和6年6月9日(日)

参加者：20名

(南部町視覚障がい者協会)

日時：令和6年6月16日(日)

参加者：20名

(湯梨浜町高齢者クラブ連合会)

日時：令和6年6月26日(水)

参加者：50名

(電友会)

日時：令和6年7月20日(土)

参加者：17名

内容：ダム見学会に併せてダムの概要(洪水調節・緊急放流)について説明

(法勝寺地域振興協議会)

日時：令和6年9月29日(日)

参加者：30名

(明道小学校)

日時：令和6年10月25日(金)

参加者：52名

(成実環境をよくする会)

日時：令和6年12月2日(月)

参加者：14名

(南部町天津地域振興協議会)

日時：令和6年12月7日(土)

参加者：30名



ダム見学(南さいはく地域振興協議会)
(令和6年6月9日開催)

ダム見学(南部町天津地域振興協議会)
(令和6年12月7日開催)



ダム見学(成実環境をよくする会)
(令和6年12月2日開催)

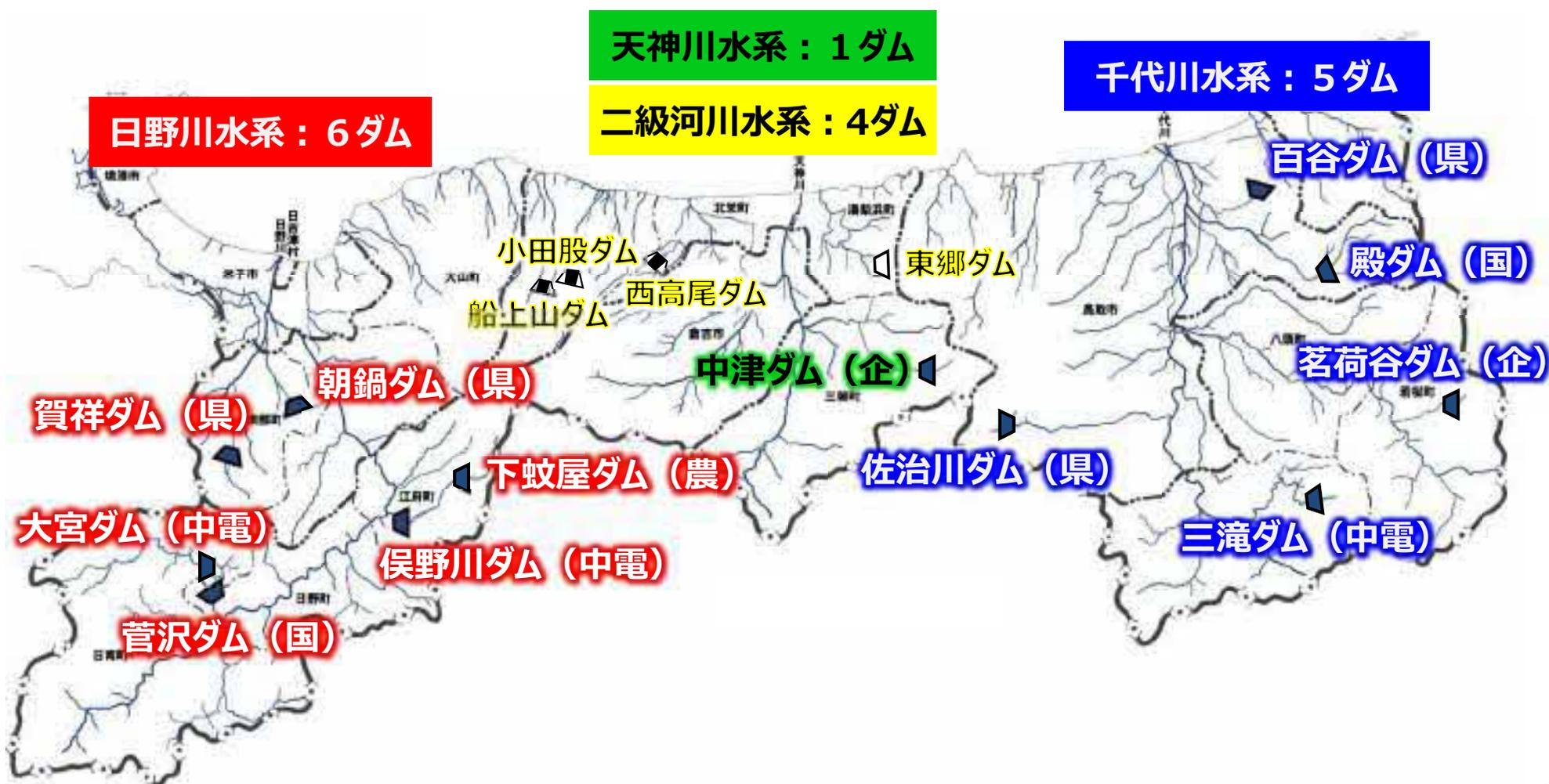


ダム見学(明道小学校)
(令和6年10月25日開催)



既存ダムの洪水調節機能の強化に向けた取組

- ◎ 令和元年東日本台風を受け、国より『既存ダムの洪水調節機能の強化に向けた基本方針』が示された。これは既存ダムにおいて事前放流をすすめるもの。
- ◎ 鳥取県内では、全てのダムにおいて治水協定を締結し、事前放流による洪水調節機能の強化を図っています。



既存ダムの洪水調節機能の強化に向けた取組

| ダムの諸元 | | | | | | 事前放流の内容※注 | |
|---------|-------|-----|----------------------|----------------------|---------------------|-----------|---------------------|
| 水系 | ダム名 | 管理者 | 有効貯水容量 (a+b) | 洪水調節容量 (a) | 利水容量 (b) | 基準 降雨量 | 洪水調節 可能容量 |
| 千代 川 | 殿ダム | 国交省 | 1,120万m ³ | 550万m ³ | 570万m ³ | 307mm | 311万m ³ |
| “ | 佐治川ダム | 県 | 188万m ³ | 147.6万m ³ | 40.4万m ³ | 別途運用 | 22.8万m ³ |
| “ | 茗荷谷ダム | 企業局 | 40万m ³ | — | 40万m ³ | 236mm | 27.7万m ³ |
| “ | 三滝ダム | 中電 | 15.8万m ³ | — | 15.8万m ³ | 142mm | 14.7万m ³ |
| “ | 百谷ダム | 県 | 24.2万m ³ | 20万m ³ | 4.2万m ³ | — | 4.2万m ³ |

(※注) ① 累計降雨量が基準降雨量に到達することが予想される場合、3日間で、洪水調節可能容量の範囲内で事前放流を実施する。

② 百谷ダムについては、「時期毎の水位運用」とする。

既存ダムの洪水調節機能の強化に向けた取組

| ダムの諸元 | | | | | | 事前放流の内容※注1 | |
|-------|-------|------------|---------------------|-------------------|---------------------|------------|---------------------|
| 水系 | ダム名 | 管理者 | 有効貯水容量 (a+b) | 洪水調節容量 (a) | 利水容量 (b) | 基準 降雨量 | 洪水調節 可能容量 |
| 天神川 | 中津ダム | 企業局 | 121万m ³ | - | 121万m ³ | 346mm | 78.3万m ³ |
| 橋津川 | 東郷ダム | 県 | 65万m ³ | 46万m ³ | 19万m ³ | - | 5.4万m ³ |
| 由良川 | 西高尾ダム | 北栄町 琴浦町 | 38.7万m ³ | - | 38.7万m ³ | - | 13.8万m ³ |
| 洗川 | 小田股ダム | 北栄町 琴浦町 | 39.0万m ³ | - | 39.0万m ³ | - | 14.5万m ³ |
| 勝田川 | 船上山ダム | 北栄町 琴浦町 | 11.3万m ³ | - | 11.3万m ³ | - | 4.0万m ³ |

(※注1) ①累計降雨量が基準降雨量に到達することが予想される場合、3日間で、洪水調節可能容量の範囲内で事前放流を実施する。

②東郷ダム、西高尾ダム、小田股ダム、船上山ダムについては、「時期毎の水位運用」とする。

既存ダムの洪水調節機能の強化に向けた取組

 県
国

| ダムの諸元 | | | | | | 事前放流の内容※注 | |
|-------|-------|-----|----------------------|---|--|-----------|----------------------|
| 水系 | ダム名 | 管理者 | 有効貯水容量 (a+b) | 洪水調節容量 (a) | 利水容量 (b) | 基準 降雨量 | 洪水調節 可能容量 |
| 日野川 | 菅沢ダム | 国交省 | 1,720万m ³ | 【7月】 250万m ³ 【8月】 680万m ³ 【9月】1,650万m ³ 【10月】 510万m ³ 【ほか】 160万m ³ | 【7月】 1,470万m ³ 【8月】 1,040万m ³ 【9月】 70万m ³ 【10月】1,210万m ³ 【ほか】 1,560万m ³ | 241mm | 104.2万m ³ |
| “ | 賀祥ダム | 県 | 669万m ³ | 330万m ³ | 339万m ³ | 別途運用 | 182万m ³ |
| “ | 朝鍋ダム | 県 | 119万m ³ | 64万m ³ | 55万m ³ | — | 26.5万m ³ |
| “ | 俣野川ダム | 中電 | 670万m ³ | — | 670万m ³ | 251mm | 670万m ³ |
| “ | 大宮ダム | 中電 | 31.9万m ³ | — | 31.9万m ³ | 241mm | 31.9万m ³ |
| “ | 下蚊屋ダム | 農水省 | 344万m ³ | — | 344万m ³ | — | 26.4万m ³ |

(※注) ① 累計降雨量が基準降雨量に到達することが予想される場合、3日間で、洪水調節可能容量の範囲内で事前放流を実施する。

② 朝鍋ダムについては、「時期毎の水位運用」とする。

千代川、天神川、日野川圏域における取組状況（R7年度以降も継続実施）

【防災避難対策（ソフト対策）】

小・中学校における防災教育の実施

『洪水・土砂災害』の概要、水害リスク、流域治水取組、避難等を小・中学校を中心に防災学習を実施した。



県内20校の小中学校防災学習を実施

自治会等における防災学習の実施

福祉施設や、障がい者支援協議会にて利用者やその職員、支援機関の担当者を対象に、災害の基礎知識や、情報収集方法についての講義をおこなった。

また、気象情報やハザードマップの確認方法を説明し、避難時期や避難場所の確認の大切さを伝えた。



北栄町障がい者地域自立支援協議会防災研修



鳥取県消防学校にて新規採用消防職員に対し、自然災害（洪水・土砂災害）について講義を行った。

鳥取県消防学校(米子市)

住民の防災意識向上、避難行動促進のため、子どもや住民への防災学習は非常に有効であるため、令和7年度も引き続き実施していく。

千代川、天神川、日野川圏域における取組状況（R7年度以降も継続実施）

・【防災避難対策（ソフト対策）】

防災フェスタの実施状況

- ・防災フェスタにおいては、流域治水にかかる取組や、水防に関する展示を行い、防災意識の向上を図った。
- ・令和6年度は琴浦町総合運動公園にて開催、R7年度は米子市で開催する。



FM ラジオへの出演

- ・FM鳥取や、FM米子にて、大雨による水害や土砂災害から身を守るポイントや、流域治水の取組を紹介した。



・【水防対策（ハード対策）】

堤防舗装の実施

R6 施工箇所：野坂川（鳥取市）



- ・バックウォーター区間、重要水防区域における堤防舗装を実施。
- ・野坂川、八東川、精進川外で実施
- ・R7年度は重要水防区間や個別で優先すべき箇所を引き続き実施

樋門操作の省力化（手動⇒電動化）

- ・地域住民などに市町を經由して操作を委託している手動の樋門について、操作員の負担軽減かつ開閉迅速化による省力化推進のため、電動化に着手。
- ・令和6年度は23基の設置を完了し、令和7年度までに全県で160基（予定）を設置していく。



- ・既設ハンドルを取り外し機器を固定

- ・電動ドリルで昇降作業可能

(4) 二級水系流域治水プロジェクトについて

- ・気候変動により激甚な水害が頻発化する中、予算や施工工程等の制約から、従来からの**河川整備のみでの治水対策には限界**が出てきています。
- ・水害による被害を抑制し、安全・安心な地域づくりを実現するため、今後は河川整備の加速化に加えて、流域のあらゆる関係者が協働して**「流域治水」を推進**することが重要です。
- ・本県では、**モデル地区「大路川流域」**において「各地区住民との意見交換」・「代表者を対象とした協議会」を定期的に開催し、丁寧に意見を聞きながら、あらゆる関係者と連携して**流域治水の取組の方向性を議論**してきました。
- ・令和6年3月に**「これまでの成果」と「目指す姿(これからの取り組み)」**のとりまとめを行い、関係者で共有することで**「みんなで」**同じ方向を向き、流域治水のさらなる推進を図るため、**「大路川流域治水ビジョン」**を策定しました。(令和7年3月 一部改訂)
- ・今後は、本ビジョンをもとに**大路川流域での取組を継続実施**するとともに、先進的な事例として県内各流域治水及び減災対策協議会等を通して、**全県各地の関係者へ展開**していきます。

大路川流域治水ビジョンの概要

【本編】

①概要

協議会の概要
大路川流域治水ビジョンの概要

②流域治水の必要性

気候変動等による災害激甚化
地域のみならず取り組む「流域治水」

③避難時の備え

地元住民の取組、日頃からできること

④これから目指す姿(ビジョン)

【資料編】

・大路川流域の概要、成り立ち

・治水上の課題(リスク)

・これまでの取組内容

河川整備、ソフト対策、田んぼダム、雨水貯留タンク等

・流域治水の取組の成果(浸水想定シミュレーション)

【目指す姿】

【ビジョン策定の目的】

- ・取組の可視化
- ・目指す姿の共有
- ・取組の継続化



→取組内容紹介 (QRコード)



流域治水の必要性

- 流域全体(河川区域、集水域、氾濫域)で対策を総動員し、
- ①豪雨時に雨水を貯留すること等により、避難する時間を少しでも稼ぐ。
 - ②取組全体を通して、住民の確実な避難行動に結びつける。



画像出典:「流域治水カワナビ HP」

R3.7月豪雨時の清水川の氾濫状況



排水先の河川整備に合わせ排水機場の能力を増強してきたが、豪雨の頻発化を踏まえ、集まる水を極力抑える貯留対策が重要!

主な取組内容



防災学習



田んぼダム



情報発信



河川整備の推進



雨水貯留タンク



コミュニケーション (意見交換会・協議会)



避難訓練

- モデル地区での取組をまとめた「大路川流域治水ビジョン」を活用しながら、令和6年度は、情報発信、雨水貯留タンク設置に合わせた防災学習等に注力し、流域治水の取組を周知の拡大を図りました。
- 令和7年度も引き続き、全県展開を進めていきます。

<県内関係機関への周知>

国、県、全市町村のほか関係機関が出席する「流域治水及び減災対策協議会」でビジョン内容を紹介



<広報誌の発行>

- ・大路川流域治水通信
- ・若葉台地区自治会だより

<ラジオ出演>

ラジオ出演による流域治水の紹介

9/19 FM鳥取(RADIO BIRD 82.5)

10/4 FM米子(DARAZ FM 79.8MHz)

<防災学習の実施>

県内小学校等で水害リスクや流域治水等の防災学習を実施

泊小学校 R6.6.18



賀祥ダム R6.12.7



修立小学校 R6.9.18



<雨水貯留タンクの試行設置拡大>

中部、西部にも雨水貯留タンクの試行設置を拡大(R6:4基、R7:4基)

<防災フェスタ、グッズ配布>

防災フェスタで流域治水模型による来場者への周知あわせて、流域治水グッズを配布

流域治水クリアファイル



R6.9.15 防災フェスタ

<報道機関による情報発信>

試行設置の状況をテレビ、新聞で取り上げていただき、広く住民に周知

R6.11.12 日本海新聞



R6.11.14 日本海ケーブルネットワーク



• 二級水系流域治水プロジェクト 更新状況

| 地区 | | | 今回更新内容 | 備考 |
|------|------|------------|-----------------------------|------------------------------------|
| 東部地区 | 東エリア | 塩見川・蒲生川外水系 | | R3.6.4更新 |
| | 西エリア | 浜村川・勝部川外水系 | | R5.6.5更新 |
| 中部地区 | 東エリア | 橋津川外水系 | | R4.9.1更新 |
| | 西エリア | 由良川外水系 | 灘手、穂波地区避難路かさ上げ (北栄町・鳥取県) | 令和7年1月書面開催 田んぼダム追加(北栄町 11地区) |
| 西部地区 | 東エリア | 佐陀川外水系 | | R5.5.30更新 |
| | 西エリア | 加茂川外水系 | | R5.5.30更新 |

橋津川外流域治水プロジェクト（県中部東エリア）【位置図】

～あらゆる関係者により流域全体で行う「流域治水」～

○令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、二級水系においても事前防災対策を進める必要があることから、以下の取り組みを実施していくことで、流域における浸水被害の軽減を図ります。
このうち、橋津川については、東郷池周辺において、多くの浸水被害が発生した平成23年9月台風12号洪水と同規模の洪水から家屋浸水被害の軽減を図ります。

○あわせて、迅速かつ適切な情報収集・提供体制を構築し、ホットラインを含めた確実な避難行動に資する情報発信などの取組を実施し、「逃げ遅れゼロ」を目指します。

位置図



■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・築堤護岸
- ・河道掘削・樹木伐採・堤防強化
- ・水門の長寿命化対策
- ・排水機場の整備
- ・間伐等の森林整備
- ・治山・砂防関係施設の整備・長寿命化対策
- ・避難路確保のための道路嵩上げ
- ・東郷ダムにおける事前放流の実施、体制構築
- ・田んぼダムによる流出抑制対策 等

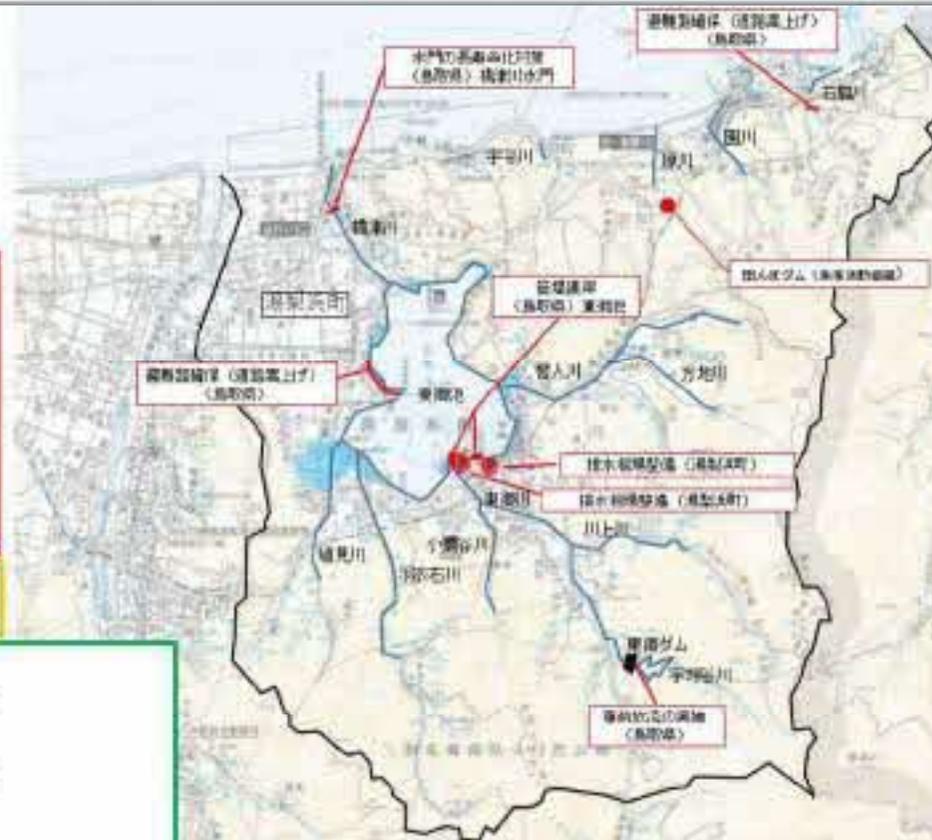
■ 被害対象を減少させるための対策

- ・土砂災害特別警戒区域内での住宅等建て替え時の支援

■ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・土砂災害警戒区域等の指定による土砂災害防止対策の推進
- ・土砂災害警戒情報と危険度情報の提供
- ・水位計・監視カメラの設置
- ・まるごとまちごとハザードマップ、浸水深表示板の設置の実施
- ・避難スイッチの取組推進
- ・ため池ハザードマップを活用した避難訓練の実施
- ・広域的な避難の必要性の検討
- ・支え愛マップの取り組み支援等による地域の防災体制づくり
- ・防災学習、研修等を通じた地域住民への意識啓発
- ・あんしんトリビュート等の情報配信ツールを活用した防災情報の提供
- ・要配慮者が確実に避難できる個別避難計画作成、避難訓練の実施等の推進
- ・感染症にも配慮した、あらゆる人が避難しやすい避難所環境整備 等

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。



【凡例】

- 二級河川
- 氾濫を防ぐ対策
- ▲ ダム
- エリア境
- 浸水実績 (平成23年9月台風12号)



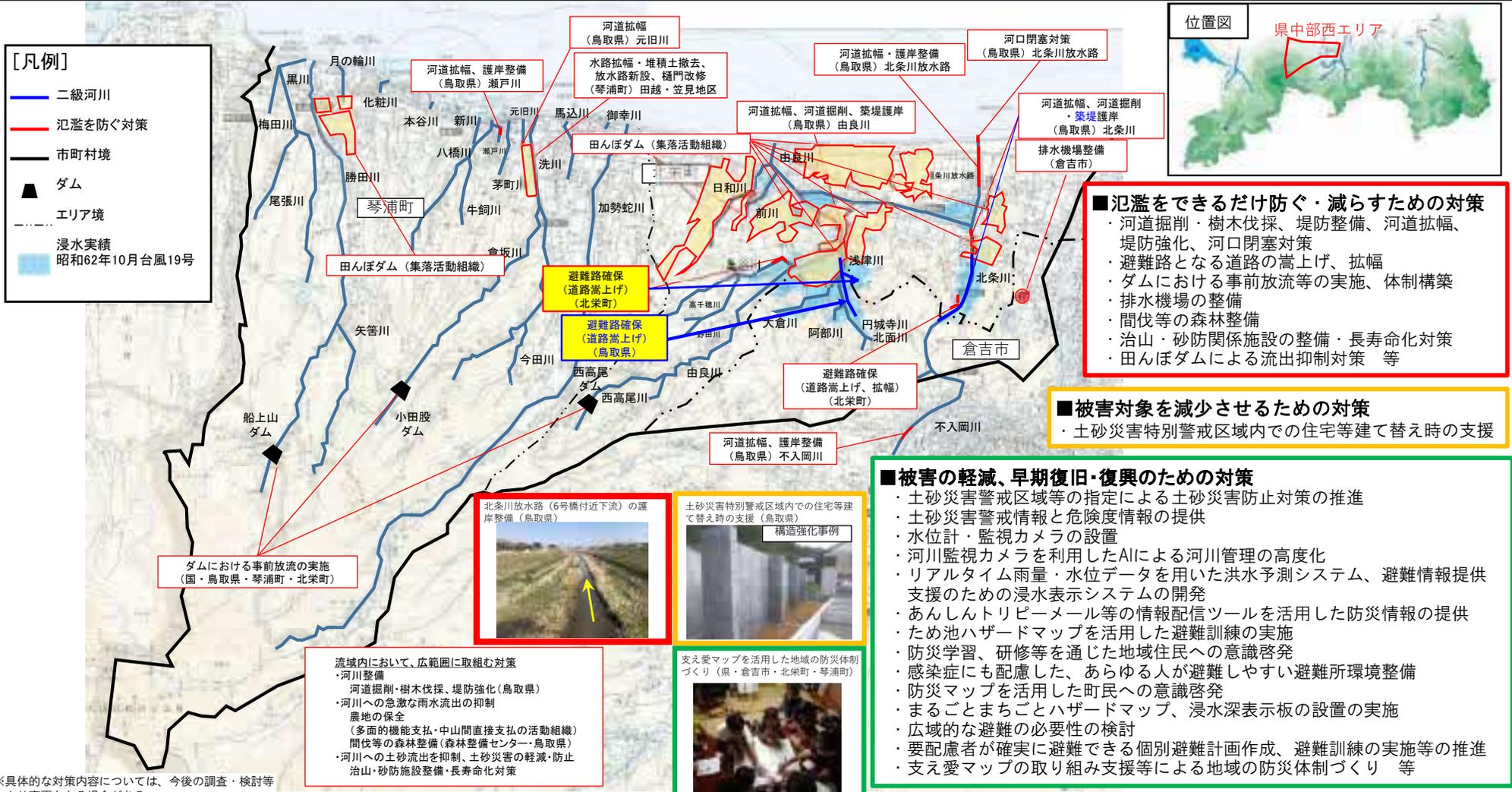
流域内において、広範囲に実施した対策

- ・河川掘削
- ・河道掘削・樹木伐採・堤防強化 (鳥取県)
- ・河川へのききぬき排水流出の抑制
- ・農地の保全
- ・河川沿線の植樹・治山関係施設の活用 (鳥取県)
- ・間伐等の森林整備 (森林整備センター・鳥取県)
- ・河川への土砂流出を抑制、土砂災害の軽減、防土
- ・治山・砂防関係施設の整備・長寿命化対策

由良川外流域治水プロジェクト（県中部西エリア）【位置図】

～あらゆる関係者により流域全体で行う「流域治水」～

○令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、二級水系においても事前防災対策を進める必要があることから、以下の取り組みを実施していくことで、流域における浸水被害の軽減を図ります。
このうち、由良川・北条川については、観測史上最大被害である昭和62年10月台風19号と同規模の洪水を安全に河道に流下させ、家屋の浸水被害軽減を図ります。
○あわせて、迅速かつ適切な情報収集・提供体制を構築し、ホットラインを含めた確実な避難行動に資する情報発信などの取組を実施し、「逃げ遅れゼロ」を目指します。

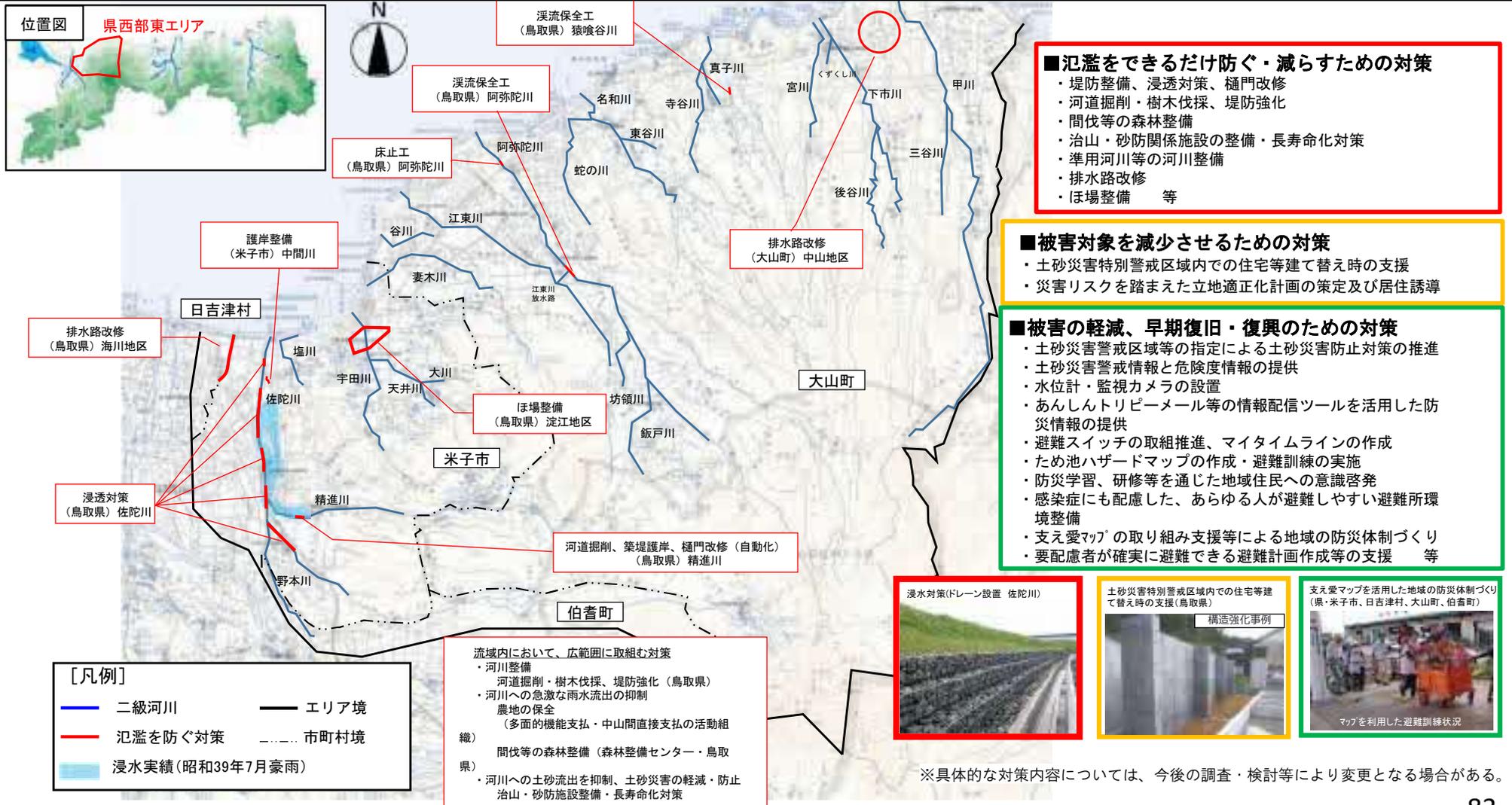


※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

佐陀川外流域治水プロジェクト（県西部東エリア）【位置図】

～あらゆる関係者により流域全体で行う「流域治水」～

- 令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、二級水系においても事前防災対策を進める必要があることから、以下の取り組みを実施していくことで、流域における浸水被害の軽減を図ります。
このうち、佐陀川及び精進川については、観測史上最大降雨が発生した昭和39年7月の豪雨と同規模の洪水を安全に河道に流下させ、洪水による被害の軽減を図ります。
- あわせて、迅速かつ適切な情報収集・提供体制を構築し、ホットラインを含めた確実な避難行動に資する情報発信などの取組を実施し、「逃げ遅れゼロ」を目指します。



・各機関の取組について

【円滑かつ迅速な避難の実現】

鳥取市防災アプリ



鳥取市防災アプリの特長

- ① 緊急プッシュ通知
- ② 防災行政無線・Jアラート連動
- ③ 防災地図
- ④ 災害3Dイメージ（AR）
- ⑤ 多言語（9カ国）対応
- ⑥ **マイ・タイムライン作成支援機能**
- ⑦ **コミュニケーション支援ボード機能**

鳥取市防災アプリ ダウンロードはこちら



14, 105ダウンロード（令和7年4月30日現在）

ワンコイン浸水センサの設置事例の紹介

<浸水センサ設置概要>

- 設置場所：鳥取市福部町湯山、海士
鳥取市吉成南町一丁目、宮長
- 設置概要（台数）：16台
 - ・福部町湯山、海士 10台(R7.3月設置)
 - ・吉成南町一丁目、宮長 6台(R6.10月設置)

○設置箇所の選定について

危機管理課、河川公園課、道路課、下水道企画課などの関係課で協議し、浸水常襲箇所である福部町湯山、吉成南町一丁目などを選定した。

○設置する目的

- ・河川や水路の溢水状況を確認し、早期の避難判断や迅速な浸水対応を行うため。
- ・浸水状況（浸水区域、時間など）を把握し、今後の対策を検討するため。
- ・通行止めの判断の目安とするため。

○今後の運用について

センサ設置後、浸水を検知していないため、継続して活用しつつ今後の対応を検討する。



吉成南町一丁目



福部町湯山



宮長



福部町湯山

防災行政無線システムの更新による災害時の情報伝達の強化

従来からの倉吉市防災行政無線システムの特徴

屋内受信機

大雨等の荒天時にも避難情報を確実に届けるために、各世帯及び要配慮者利用施設に屋内受信機を無償貸与。

コミュニティ放送

市民の利便性の向上を図ると共に、設置率及び稼働率の向上を図るため、屋内受信機へ各集落のコミュニティ放送を配信。

早期避難を実現するための情報伝達手段の強化

防災放送アプリ

外出先や避難先でも市の防災行政放送や集落のコミュニティ放送がスマートフォンで確認できる防災放送アプリを導入。

SNS同時配信

倉吉市からの防災行政放送について、防災無線との同時配信が、EメールとLINEに加え、XとFacebookも追加。

最悪の事態を想定した災害耐性の強化

浸水対策

洪水浸水想定区域内にある屋外拡声スピーカークの無線機器等について、高所化を図り、洪水時の情報通信体制を確保。

停電対策

機器の省電力化を図ることで、停電時の屋外拡声スピーカークのバッテリー駆動24時間から72時間へ強化。

倉吉市公共下水道事業（雨水）内水対策の計画



西倉吉排水区（福守町～秋喜地区）内水対策

- ・西倉吉排水区（福守町～秋喜の区域）には、西倉吉工業団地や西福守団地、鳥取県立倉吉西高等学校など、倉吉市の重要な地域
- ・1級河川小鴨川と国府川に挟まれた地域で台風や豪雨時は、国府川の水位上昇により排水不良による浸水被害が発生する地域。
- 【被災状況】
- ・平成30年台風24号により床下浸水9棟
- ・令和3年7月豪雨により床下浸水11棟
- ・令和5年台風7号により道路冠水
- 【対応状況】
- ・令和5年 倉吉市流域関連公共下水道事業計画変更
- ・令和6年度～ 西倉吉排水区基本設計業務、事業評価業務

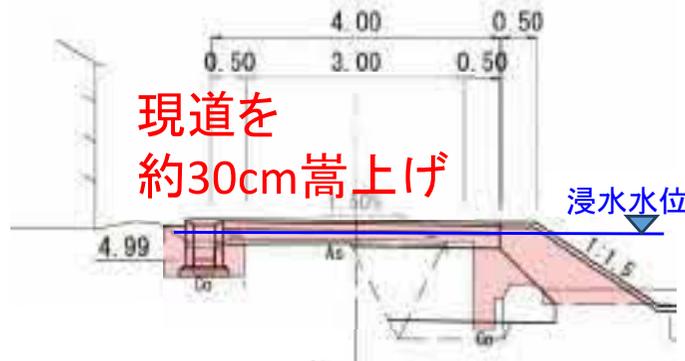
倉吉第2排水区（明倫・成徳地区）内水対策

- 倉吉市明倫・成徳地区は、「打吹・玉川伝統的建造物群保存地区」として指定された倉吉市随一の観光名所
- 明倫・成徳地区の雨水を排水する倉吉第3雨水幹線（鉢屋川）は台風・豪雨時に1級河川小鴨川の水位上昇により排水困難となり浸水被害が発生する地域。
- 【被災状況】
- ・平成29年台風18号により床上浸水6棟、床下浸水84棟
- ・平成30年台風24号により床下浸水16棟
- ・令和5年台風7号により床下浸水2棟
- 【対応状況】
- ・平成30年 倉吉市流域関連公共下水道事業計画変更
- ・令和元年～2年度、明治町二丁目雨水排水ポンプ施設整備
- ・令和6年度～ 下流側から整備開始

ハード対策

道路冠水常襲箇所等の解消に向けた道路工事に着手

- ✓ 下条線ほか1路線 (R2完)
- ✓ 島嶼道線 (R4完)
- ✓ 米里北尾線 (R5 (1工区完成))
- ✓ 米里19号線 (R5完成)
- ✓ 米里12号線 (R6完成)
- ✓ 島4号線 (R6完成)
- ✓ 米里曲線
- ✓ 高千穂西穂波線
- ✓ 大谷西屋敷1号線
- ✓ 松神2号線外4路線)



米里12号線 (施工前)



米里12号線 (嵩上げ後)



ソフト対策

情報配信アプリの導入 (R6完成)

災害情報などの情報伝達手段の多重化を目的として導入。

- ✓ 時間や場所の制約を受けず、町や自治会からの情報を確認できる環境づくり
- ✓ 音声だけでなく文字等により確実に質の高い情報伝達
- ✓ 様々な防災、行政情報 (日常に役立つ生活情報を含む) の配信



家に設置された告知機の内容を
スマホやタブレット端末で確認できる!

伯耆町の取組

【平時の取り組み】

- ・ 出水期の事前啓発活動（広報紙、町ケーブルテレビ、防災無線 等）
- ・ 防災講演会の実施
R6年度実績 1回
（食生活改善推進委員）
- ・ 備蓄品の整備

【住民の避難に関する取組】

- ・ 避難についての知識やハザードマップの活用方法についてケーブルテレビにて周知
- ・ ペット同行避難について避難所選定等の検討を開始

【防災訓練等】

- ・ 日野川総合水防演習への参加（消防団）
- ・ 地震を想定した避難訓練の実施
※R6年度は荒天のため中止

備蓄品の整備



日野川総合水防演習



江府町の取組

防災学習等

- ・ こどもサロンでの防災教育
- ・ 防災士の養成

住民の避難に関する取組

- ・ 防災座談会の開催
- ・ 江府町総合防災訓練において段ボールベッド、間仕切りの作成訓練

避難所での段ボール間仕切り作成訓練



防災資機材の配備

- ・ スターリンク・蓄電池設備を配備し災害時の通信手段を確保する

蓄電池設備



Starlinkの通信状況調査訓練

